

公開制作

#映える細密銅版画のつくりかた



尾崎ユタカ 「A Day In Pines Park / ある日のパインズパーク」
エンブレヴィング、エッチング、メゾチント、画面サイズ8×16cm

日時 2021年6月12日(土) 13:30~15:30

※途中休憩含む

会場 町田市立国際版画美術館・講堂

解説・実演 尾崎 ユタカ (銅版画家)

臨時休館により
日程が変更になりました

入場無料・入退室自由

事前申込不要・直接会場へお越しください。定員 30 名 (うち着席 15 名、先着順)。

※状況により内容を変更する場合があります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の事項にご理解とご協力をお願いいたします。

◀次の事項に該当する場合はご来館をお控えください▶

◆平熱と比べて高い熱がある。◆咳、全身倦怠感等の風邪諸症状・体調に不安がある。◆PCR 検査で陽性とされた方や感染の疑いのある方と濃厚接触がある。

◀ご来館の際は、以下の事項にご協力をお願い申し上げます▶

○入館時の検温 ○マスクの着用 ○会場内でのソーシャルディスタンス確保 ○こまめな手指の消毒や手洗い ○大声での会話はお控えください。

当館の感染症拡大防止の取り組み ・館内の清掃、手が触れる場所の消毒 ・消毒液の設置 ・会場内の換気 ・身体的距離を確保した座席配置 ・講師や職員の検温と体調管理、マスクの着用と手洗い

銅版画にはドライポイントやエッチングなど、制作方法の異なる技法があります。それぞれの技法には表現の特色があり、作品の印象に変化を与えています。

尾崎ユタカ氏は、エングレーヴィング※を主な技法として制作する銅版画家です。その作品は雄大な風景をも小さな画面の中に刻み、まるで時間の流れを閉じ込めたかのような静かな美しさを漂わせています。公開制作では、尾崎氏に銅版画の様々な技法の解説と、制作方法の一部を実演していただきます。銅版画ならではの刻線に秘められた、技と表現のひろがりをご覧ください。

※エングレーヴィング・・・ピュランという刃物を使って金属板に線を直接刻んで版をつくる銅版画技法。

尾崎ユタカ 「馬と子犬」
エングレーヴィング、エッチング
画面サイズ 6×6cm



おさき
尾崎 ユタカ (銅版画家)

1956 山梨県生まれ
1980 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻
銅版画研究室卒業

《おもな作家活動》

- 1993年 第2回さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ展 (札幌市)
- 1994年 第2回ぶどうの国の国際版画ビエンナーレ展招待作家部門 (山梨県立美術館 / 1997年招待出品)
第39回CWA J 現代版画展 (東京アメリカンクラブ / 1996年以後毎年出品)
- 1995年 第9回ウッジ国際小版画展 (ポーランド)
- 1996年 第7回山梨県新進作家選抜展 (山梨県立美術館)
第9回上野の森美術館・日本の自然を描く展 (文部大臣奨励賞受賞 / 上野の森美術館)
銅版画集『On the Earth』(ガレリア・グラフィカ) 刊行
- 1997年 第3回英国国際ミニチュール版画展 (～1998年イギリス巡回 / 2000年招待出品)
- 1998年 第1回あおもり版画大賞展 (青森市)
銅版画集『星』(ガレリア・グラフィカ) 刊行
- 1999年 第1回山本鼎版画大賞展 (上田市)
- 2000年 「現代美術の手法 (5) 大きい版画と小さな版画」展 (練馬区立美術館)
- 2002年 第2回モントリオール国際ミニチュール版画ビエンナーレ展 (最高賞受賞 / カナダ)
「線の迷宮 (ラビリンス) -細密版画の魅力-」展 (目黒区美術館)

◆◆◆ 展覧会のご案内 ◆◆◆

企画展示室 「#映える風景画を探して」
4月24日(土)～6月27日(日)

常設展示室 「まちだゆかりの作家 門坂流」
4月14日(水)～6月27日(日)

※当館は5月31日まで臨時休館しております。



町田市立国際版画美術館
東京都町田市原町田4-28-1
電話：042-726-2889
<http://hanga-museum.jp>

